

古いものから対馬の魅力を探そう

対馬博物館



対馬博物館

令和4年4月30日にオープンした対馬博物館は、対馬藩主宗家が暮らしていた「金石城跡」や歴代藩主のお墓がある「万松院」の近くに建ち、大陸の国々や日本本土と活発な交流を行っている対馬の歴史、文化、芸術、自然に関する様々な資料を集め展示しています。

建物は、博物館ゾーンと交流ゾーンの2つで構成され、博物館ゾーンには平常展示室、特別展示室、収蔵庫などがあります。総合、古代、中世、近世、近現代の5つのエリアからなる平常展示室は、昔の人々が残してくれた資料に加えて、映像コンテンツや体験コーナーにより、興味を持って見ることができます。特別展示室では、対馬内外から資料を集め、年に2回程度の特別企画展を開催する予定です。2階には、長崎県対馬歴史研究センターがあり、国の重要文化財である「宗家文書」の保存修復、調査研究を行っています。

交流ゾーンでは、2階講座室の昆虫標本により対馬の自然を学ぶことができるほか、ギャラリーや体験学習室、ミュージアムショップも利用できます。

令和3年10月に一足早く開館した分館「対馬朝鮮通信使歴史館」は、室町時代から江戸時代にかけて、朝鮮国が日本に派遣した外交使節団「朝鮮通信使」の歴史や対馬との関わり、雨森芳洲の誠信外交について、資料や模型、ガイドンスシアターなどで紹介しています。

対馬博物館では、対馬に関する資料を見るだけでなく、講演会やワークショップへの参加を通して、その資料がもつ意味や価値を知り、好奇心を深め、新しい対馬の魅力を発見することができます。



詳しくはこちら



体験コーナーの1つ、増田山遺跡出土の銅矛のレプリカです。手に取ってその重さを体感することができます。



周辺マップ

(提供:対馬博物館)